



2021
年
10
月
18
日
No.
60



反戦・平和 人権 環境
脱原発の火を消すな！

発行 石川県平和運動センター 金沢市西念 3-3-5 Tel076-233-2170
<http://i-peace-ishikawa.com/> ツイッターやフェイスブックにもリンク

「台湾有事」への日・米参戦準備を許すな！



自民党総裁選を前にした9月16日、第22回総会を開催した。冒頭で南代表は、「9月15日から陸上自衛隊が28年ぶりに全国で延べ10万人規模の軍事演習に触れ、「政府はコロナ下、自宅療養を強いられ多くの方が亡くなっているのに、その対策も対応もしないで5兆円も防衛費に使っている」と怒りを込め、「声を上げていくことから始めよう」と訴えた。コロナ対応で代議員を特別ルールとした中、取り組みの総括と新年度の闘う方針を決定し、短時間であったが、現下の「台湾有事」を活用した戦争準備に反対の意思を確認しあった。

改憲阻止、いまが正念場！ 運動を、強く、大きく！

権力闘争の末、首相の座を勝ち取った岸田新政権は10月4日発足したが、「所得倍増」や「格差是正」など総裁選中に語った国民向けの美辞麗句は、「軍事費をGDPの2%・10兆円に倍増」や「中距離ミサイルの配備」を叫んでいたタカ派の高市元総務相を党政調会長を任命していく、「ミサイル防衛の強化」など軍事色の濃い政権の姿を露わにした。

岸田首相は就任演説で、「信頼と共に得られる政治が必要」と述べたが、「モリ・カケ・桜」などの政治腐敗は封印し、国民の「信頼と共に」をうらぎる「安

倍傀儡政権」に他ならないことを社会的にも明らかにした。「敵基地攻撃能力の保有」と「任期中の改憲」を公言している岸田首相は、「憲法調査会において与野党の枠を超えて、国民的な議論」を推し進めるとして、「戦争する国」づくりの完成を急いでいる。総選挙後には一挙に、憲法9条に自衛隊を明示し、緊急事態条項の新設など自民党4項目を「改憲原案」にしようとすることは火を見るより明らかである。自・公政権による「改憲」を許してはならない。いまが正念場だ。

下記集会に参加し、ともに声を上げよう。参加者・単組は、組合旗・プラカードを持参しよう。

護憲集会 (石川県憲法を守る会) 12:30～デモあり

日 時 11月3日(水・祝) 11:30～12:00

場 所 金沢市役所前広場 デモ会場～松ヶ枝緑地

決意表明 北尾(弁)、平和センター、小松爆音連絡会

平和憲法公布75周年集会 15:45～パレードあり

日 時 11月3日(水・祝) 14:00～16:15

場 所 女性センター パレード会場～金沢駅(ANAビル前)

講 演 半田 滋(防衛ジャーナリスト)

これが「参戦準備」の内実だ！

リアルな演習の現実について議論しよう！ 反対の声を！ 行動を起こそう！

2021年9月15日から11月下旬までの二ヶ月半、14万人の陸上自衛官のうち、延べ10万人が動員され、日本全土で、そして各部隊において、戦車が公道を走り、大砲や弾薬や食料、医薬品を、そして兵隊を、

JR駅から、港湾から、高速道路や輸送機を利用して九州に搬送し、着・上陸訓練をする、まさに、史上最大規模の陸上自衛隊軍事演習=「戦争準備」が強行されるのです。



一般道で車列を組んで走る陸上自衛隊部隊

機動展開等訓練

海上自衛隊の輸送艦に陸自部隊を乗せて上陸する訓練や航空自衛隊の輸送機からパラシュート降下したり、在日米陸軍のヘリコプターを使って空中強襲する。



射撃訓練を行う予備自衛官

兵站・衛生訓練

(兵站 へいたん)

陸上自衛隊の後方支援体制の訓練。補給統制本部が全国の後方支援部隊を連携して、弾薬や食料、被服、予備部品など部隊が行動するにあたって必要となる(衛生)

自衛隊中央病院をはじめ、全国の自衛隊病院、各地の衛生課部隊などが野外手術セットを展開して病院を開設する。ヘリコプターによる緊急患者搬送やトリアージ訓練なども行う。

システム通信訓練

システム通信団が広域展開する部隊間の通信インフラを構成したり末端、最前線部隊まで細分化された通信網を構築し、広域多目的無線機を活用したデータ

の一やり取りをする。加えて海自や空自のシステム通信部隊と共同し、陸海空の垣根を超えた通信訓練。サイバー防護隊などによるセキュリティ訓練を行う。



水陸機動団のAAV7 着・上陸訓練

戦争準備そのものではないのか？絶対に許すことはできません！